

目次：

待兼山の行幸碑と行啓碑	1	受贈刊行物	6
室長就任のご挨拶	2	大阪大学アーカイブズ兼任教員名簿・	14
共同研究紹介	3	大阪大学アーカイブズ運営委員会委員名簿	
～公文書管理法制の比較法政史研究の試み～		業務日誌(抄)	15
歴史資料等の寄贈及び寄託受入れ内規の制定	5	利用案内等	16



待兼山の行幸碑と行啓碑

豊中キャンパスの待兼山の整備された遊歩道をはずれてしばらく登ると、「今上駐蹕（きんじょうちゅうひつ）之地」と刻された大正天皇の行幸碑と、「東宮行啓之跡」と刻された裕仁皇太子（後の昭和天皇）の行幸碑が建っている。今は藪の中に埋もれてしまい、その存在を知る人も少ないと思われるが、この場所は1919（大正8）年11月に行われた陸軍大演習の際に、大正天皇と裕仁皇太子が待兼山から統監するために設けられた休息所の跡である。二つの碑は、この事績を記念して、地元住民によって建てられた。大阪大学に残された数少ない「戦争遺跡」である。飯塚一幸「大阪大学に残る戦争遺跡」（木戸衛一編『平和研究入門』大阪大学出版会、2014年）、参照。

（菅 真城）

室長就任のご挨拶

大阪大学アーカイブズ室長 飯塚一幸



本年4月より、二代目の大阪大学アーカイブズ室長に就任しました。私は、日本近代史を研究している関係で、これまで国立公文書館や国立国会図書館憲政資料室、京都府立総合資料館、京都府立丹後郷土資料館をはじめとして、文書館や博物館・資料館などの諸施設を利用する立場にありました。それが一転して、資料を保存・公開する側に身を置くことになったのです。まだ物事を考える際の癖が抜けず、とまどっています。

2012年10月1日に発足した大阪大学アーカイブズの前身は、2006年7月1日に設置された文書館設置準備室です。実際の活動はさらに1年以上前の2005年にさかのぼるようなので、かなり長い助走期間があつて現在に至ったのですが、その全期間を通して差配していたのは阿部武司前室長でした。大阪大学アーカイブズの制度設計には阿部前室長の構想が色濃く反映しており、次のような三つの特徴があると思っています。

第一は、大阪大学アーカイブズは公文書管理法（2009年法律第66号）施行後に「国立公文書館等」の指定を受けた最初の大学文書館であるという点です。東北大学・名古屋大学・京都大学・神戸大学・広島大学・九州大学の6大学は、公文書管理法施行以前にすでに施設があり、実際に運用されていました。これに対し大阪大学の場合は、指定に必要な設備を整備して、内閣府の公文書管理委員会による承認を得る手続きを経たうえで、2013年4月1日付で内閣総理大臣による指定を受けたのです。東京大学総合研究博物館特任准教授の森本祥子さんも大阪大学アーカイブズの『ニュースレター』第3号で指摘しておられるように、いわば第二世代の大学文書館の先頭にいるわけで、その動向には高い注目が集まっています。

第二は、図書館や博物館の附属機関ではなく、単独の文書館として立ち上げた点です。大学文書館の目的の一つは、保存期間満了と

なった法人文書の内、重要と認めたものを受け入れ整理のうえ永久保存とし、大学の円滑な管理運営に役立てたり一般の利用に供したりすることです。公文書管理法によると、文書館が設置されていない場合は、現用文書の保存期間を延々と伸ばして保管し続けたり、国立公文書館に移管したりするしかなく（仕方なく廃棄する可能性も）、文書館の役割は相当重いことがわかります。こうした図書館や博物館とは異なる独自のミッションを持つことを強調して、単独の機関として出発したのです。

第三は、「国立公文書館等」としての機能とともに、大学史資料部門を置き、それを「歴史資料等保有施設」（保有する歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料について適切な管理を行うもの）として内閣総理大臣の指定を受けた点です。大阪大学アーカイブズは二つの機能を合わせ持つ機関として発足したのです。この点は、先行する既存の大学文書館にほぼ共通する特徴なのですが、仮に今後大阪大学が百年史編纂事業を行うことになれば、大学史資料部門の果たす役割は一層重要になるでしょう。

大阪大学アーカイブズは、2013年度に本部事務機構総務企画部総務課から法人文書ファイル管理簿に未掲載の法人文書172冊と、各部局では廃棄と判断された法人文書のうちアーカイブズへ移管する必要があると判断した28冊、計200冊を移管しました。今年度には本部だけでなく各部局からの公文書の移管を始め、活動が本格化します。とはいえ、いまだ学内での認知度は高いとは言えません。実際のところ、大阪大学アーカイブズが箕面キャンパスに位置していることをご存知ない方さえ、かなりの数に上るのではないのでしょうか。できるだけ早く学内に必須の施設として定着し、社会的にも広く知られ多くの方に利用していただけるよう努めていく所存です。

共同研究紹介

～公文書管理法制の比較法政史研究の試み～

大阪大学大学院高等司法研究科教授、大阪大学アーカイブズ兼任教授 三阪佳弘

共同研究の問題関心

筆者は公文書管理をテーマとした共同研究を2011年から4年間行った^{*1}。その背景には2009年6月の公文書管理法制定があり、それに伴って、「公文書管理」、公文書の作成・利用・保管（保存）・廃棄というサイクルとそれにあわせた文書管理のあり方をめぐる研究が急速に進展したことがある。より直接的には、そうした動きを加速させた、日本の公文書管理の杜撰さを示す事件が相次ぎ、それらを生み出す背景を歴史的に考えたいということにあった。

適切な公文書管理を必要とする理由は、公権力の意思決定を現在及び将来において追跡可能なものにし（traceability）、信頼にたえうるような形で公文書管理がなされ（credibility）、だれもが利用しうるようにする（accessibility）ためである。しかし、この間明らになった現実には、整備された情報公開法制によって公開された公文書の「質」が説明責任に耐えられなかったり、「保存」の要否の決定が作成機関の「恣意」に委ねられていたことによって、文書の「不存在」＝事実上の情報「非公開」状態を確認するにすぎなかった、といった事態である。

公文書管理法は、こうした日本の現実を変えることになるのだろうか？この素朴な疑問を考えるために、本研究では諸外国において公文書管理制度とその理念を成立させた歴史的前提条件がどのようにして形成されたのか、という点の解明を行おうとしたのである。具体的には、日本、中国、イギリス、フランス、イタリア、ドイツ、ロシアとの比較研究を進めたが、正直、問題の所在がわかったところで時間切れになった感が強い。同時に、同じ東アジアの中国、韓国、台湾における公文書管理法制整備のめざましさを知ること、日本の現状が国際的に見て先進的とは言えない段階にあることについて改めて認識させられた^{*2}。

公文書管理法制展開の整理

それでは日本の現状は比較法政史的に、どの

ような段階にあるのだろうか。本研究では大まかな見取り図として、以下のように整理してみた。

①「近代的」公文書管理の観念の成立 これは、統治の便宜ないしは先例としての文書・記録が、統治の実際・現場から切り離され、非現用文書として保存・管理がなされるようになり、文書の生成・移管・保存・公開という全過程が、専門的な公文書管理機関（Archives）によって統制されるようになることによって成立する。

②非公開から公開への原理的転換、公文書へのアクセスを権利として保障 このことによって、国の統治の透明性を担保し、市民による検証を可能にする情報公開の論理に対応する公文書管理法制が登場することになる。

③①と②の実質的な展開は、それぞれ、19世紀末～20世紀初頭の時期と、第2次世界大戦後とに見られる。前者は近代国民国家の成立時期と照応し、「国民の記憶」の管理を構築するという論理に対応している。

④①と②については、第2次世界大戦後とりわけ1970年代以降、急激な変化がもたらされる。その要因には、上述した19世紀末から20世紀初頭の国民国家としての「記憶」管理の「相対化と再構築」が不可欠となったという歴史的状況がある。欧米諸国は、アジア・アフリカに対して植民地支配（＝「帝国」支配）と裏腹の関係で、Archives面でも支配力を持ち（アーカイバル・ヘゲモニー）、「国民国家」に即応した「記憶」を創造してきたという過去を持つ。そうした過去を相対化しようとする動きが、20世紀末の公文書管理法制の動きに反映されている点が重要である。それは同時に、国家統治の透明性と検証可能性を担保するために情報公開・アクセスを国民に権利として保障するという論理によって担保されるものでもある。

各国における具体的展開

以上の整理に即して、各国の展開を位置づけると、18世紀頃から、上述①が萌芽的に進行し、

フランス革命において、②が法的に確認されるが、19世紀の実態としては、必ずしも制度として定着したとはいえなかった。①②の点は、③19世紀末の近代国民国家の確立期、④第2次世界大戦後という二つの画期における、公文書管理法制整備の政治的・社会的動因によって、実質化されていくことになる。

東アジアは、③④が動因となって、第2次世界大戦後、とりわけ1980年代以降に集中して制度構築が促された点が特徴的である。そのことは、とくに台湾・韓国において、1980年代以降の民主化とともに急速に公文書管理法制の整備が進められたことに象徴される。ここには、統治の検証可能性のための情報公開の論理を見出すことができる。そして、それとともに、植民地支配や戦後の独裁政権の支配からの解放に伴って、欧米あるいは独裁政権による「アーカイバル・ヘゲモニー」を打ち破って、国民の共有財産として歴史的公文書の保存管理そして公開の制度構築を行うおうとする動きを看過することはできない。

現代日本の位置と今後の課題

日本においても、明治維新时期に①に基づく制度構築の萌芽を見せたことが確認される。しかし、その後は発展せず、戦後においても、上述した公文書管理法制を支える理念に照らして、十全な発展を見せてこなかった。

日本の近代化のプロセスにおいては、確かに、公文書管理法制を支える、統治についての説明責任、それに関わる情報へのアクセスの国民への保障という点で、西欧に比較して脆弱であった、という評価は否めない。しかし若干の留保は必要である。つまり、日本が公文書管理法制の制定に当たって参照した欧米の制度は、戦後、あるいは国によっては1970年代以降の急速な展開によるものであり、そこから得られた制度像ないしは制度理念を、19世紀欧米の史実に投影し、公文書管理法制がそのように展開してきた、として描くことはできない。むしろ、欧米でも「近代的な」公文書管理法制の実質的な展開は、19世紀末からの段階的な発展によるものであり、日本近代の公文書管理法制を、それとの対比で不十分であったとはいいたい面がある。

しかしながら、そうであったとしても、各国が急速に公文書管理法制を展開・発展させる戦後ないし1970年代以降の動きに比較して、日本の法制整備の動きはきわめて鈍いものであったこ

とは、あらためて強調されなければならない。この点は、1950年代から整備を進めた中国、1990年代から制度展開を強めた台湾・韓国と比較しても、日本の現状は公文書管理法が制定されたとはいえ、きわめて不活発である点において、特徴的である。

その点は、公文書管理法の制定後も続く人員・予算面での不十分さにあらわれている。関係諸機関へのヒアリングのなかで、その改善の見通しについて尋ねたところ、現在の厳しい国家予算のなかで、公文書管理整備に相当の予算を費やすことに国民の理解をえられるのでしょうか？という答えが返ってきた。

公文書管理法を制定させた日本社会には、さらにArchives観念を支える法文化あるいは政治文化の熟成のためにももう少し時間が必要なのかも、結局「問題の所在がわかったところで時間切れになった」というのが正直なところである。

*1 JSPS科研費 22330003「公文書管理法制の比較法政史—あるべき制度設計を求めて」（筆者の他に、瀧口剛・竹中浩・田中仁・林智良・三成賢次（以上法学研究科）、中尾敏充（本学名誉教授、現在奈良大学）

*2 『公文書管理法制の比較法政史 データブック編』（B5版、全364頁、2013年3月）では、中国、台湾、韓国の法制度の現在の実態を、関係諸機関のインタビュー記録によって、詳細に明らかにした。それなりの歴史的蓄積を持つ中国については自国のアーカイブズに対するプライドを、台湾・韓国では、アーカイブズという新たな領域を開拓する意気込みを大いに感じさせるものであった。『公文書管理法制の比較法政史 分析編』（B5版、全128頁、2014年3月）も含めて、詳細は、<http://www.law.osaka-u.ac.jp/chrarchive/>を参照。



歴史資料等の寄贈及び寄託受入れ内規の制定

大阪大学アーカイブズでは、平成26年4月1日付けで「大阪大学アーカイブズ歴史資料等の寄贈及び寄託受入れ内規」を制定しました。これは、これまで不明瞭であった受入れ手続き及び著作権等の処理について、内規に基づき厳密に行うためのものです。

この内規の施行に伴い、歴史資料等を寄贈しようとする方には、「歴史資料等寄贈申込書」を提出していただくことになりました。歴史資料等の寄贈を希望される方は、まずはその旨を大阪大学アーカイブズまでご連絡ください。それを受けて、所定の用紙をお送りいたします。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

大阪大学アーカイブズ歴史資料等の寄贈及び寄託受入れ内規

(趣旨)

第1条 この内規は、大阪大学アーカイブズ規程第10条の規定に基づき、大阪大学アーカイブズ(以下「アーカイブズ」という。)が、歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料(公文書等の管理に関する法律(平成21年法律第66号、以下「公文書管理法」という。)第2条第7項に規定する特定歴史公文書等を除く。以下「歴史資料等」という。)の寄贈又は寄託を受け入れる手続等に関し必要な事項を定めるものとする。

(寄贈の受入れ)

第2条 歴史資料等を寄贈しようとする者は、歴史資料等寄贈申込書を大阪大学アーカイブズ室長(以下「室長」という。)に提出するものとする。

2 室長は、当該歴史資料等が公文書管理法第2条第4項第3号に規定する特別な管理をするに相当の理由があると判断する場合には、当該歴史資料等を受け入れるものとする。

3 室長は、当該歴史資料等の寄贈を受け入れるときは、歴史資料等受領書を寄贈した者に交付するものとする。

(寄託の受入れ)

第3条 歴史資料等を寄託しようとする者は、歴史資料等寄託申込書を室長に提出するものとする。

2 前項の申込みがあった場合の受入れ基準については、前条第2項の規定を準用する。

3 室長は、当該歴史資料等の寄託を受け入れるときは、歴史資料等寄託契約書を取り交わし、歴史資料等を受け取った後、歴史資料等預り書を寄託した者に交付するものとする。

(寄託期間)

第4条 寄託期間は、原則として5年とする。

2 前項の寄託期間満了の日の2月前までに室長及び寄託者の双方いずれからも別段の意思表示のないときは、寄託期間は更に5年間更新されるものとし、その後も同様とする。

(寄託契約の変更又は解約)

第5条 室長又は寄託者が、寄託契約を変更又は解約しようとする場合には、寄託契約を変更又は解約しようとする日の2月前までに申し出て、協議するものとする。

2 前項の規定により寄託契約を解約したときは、室長は、解約された日から原則として30日以内に、歴史資料等預り書と引き換えに、歴史資料等を寄託者に返還するものとする。

3 前項の場合において、引き続き一部の歴史資料等を寄託しようとするときは、第3条に規定する手続を経るものとする。

(著作権の調整)

第6条 室長は、第2条又は第3条の規定に基づき受入れた歴史資料等に著作物、実演、レコード又は放送若しくは有線放送に係る音若しくは映像(以下「著作物等」という。)が含まれている場合は、当該著作物等について、必要に応じて、予め著作者、著作権者、実演家又は著作隣接権者から著作者人格権、著作権、実演家人格権又は著作隣接権についての許諾や同意を得ること等により、当該歴史資料等の円滑な利用に備えるものとする。

(雑則)

第7条 この内規に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成26年4月1日から施行する。

受贈刊行物 (2014年3月～2014年8月)

追手門学院大学

追手門経営論集 第19巻第2号・第20巻第1号、OTEMON ECONOMIC STUDIES Vol.46、追手門経済・経営研究 第21号、追手門経済論集 第48巻第2号、追手門学院大学国際教養部紀要 第7号、追手門学院大学心理学部紀要 第8号、追手門学院大学創立50周年記念講演会[第2回] 建学の精神と自校教育 講演録、学校法人追手門学院 自校教育DVD 追手門の歩み～世紀を超えて～

大阪女学院教育研究センター

大阪女学院教育研究センターNewsletter 第4号

大阪市立大学大学史資料室

恒藤記念室叢書4 恒藤恭「欧州留学日記」(1925年)、大学史資料室ニュース 第18号

学習院アーカイブズ

学習院アーカイブズNEWSLETTER 第4号

学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻

GCAS Report Vol.3 ー学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻研究年報ー、アーカイブズ学専攻主催講演会 韓国におけるオープンソース・ソフトウェア記録システムの普及活動～「記録文化」を浸透させるために～(チラシ)、記録を守り記録を伝える(パンフレット)、目指そう、アーキビスト！！平成26年入試説明会 学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻(チラシ)

神奈川大学大学資料編纂室

神奈川大学会議録(十五) 神奈川大学史資料集 第三十集

金沢大学資料館

金沢大学資料館紀要 第9号、金沢大学資料館だより Vol.42～44、平成25年度 金沢大学資料館特別展 二十年目の邂逅

関西大学大阪都市遺産研究センター

関西大学大阪都市遺産研究センター研究叢書 別集4-2 住友文庫ドイツ医学学位論文目録 第二巻、関西大学大阪都市遺産研究センター研究叢書 別集4-3 住友文庫ドイツ医学学位論文目録 第三巻

関西大学年史編纂室

関西大学年史資料展示室(リーフレット)、平成26年度関西大学年史資料展示室企画展 Start for Next 関西大学第一高等学校・第一中学校創立100周年記念展

(ポスター・チラシ)関西大学年史編纂室、関西大学年史紀要 第23号

関西学院学院史編纂室

関西学院学院史紀要 第二十号

関東学院学院史資料室

関東学院学院史資料室ニュース・レター No.17、関東学院資料集 第2号

九州大学大学文書館

九州大学大学史料叢書 第20輯

京都産業大学

サギタリウス vol.63・64

京都大学大学文書館

京都大学大学文書館企画展 儀式・行事の歴史(チラシ)、京都大学大学文書館企画展 京大教員たちの留学体験ー明治・大正期を中心にー(チラシ)、京都大学大学文書館研究紀要 第12号、京都大学大学文書館だより 第26号

近畿大学建学史料室

A Way of LifeーSeko Koichiー 世耕弘一先生建学史料室広報 17号

熊本大学60年史編纂室

熊本大学六十年史 通史編、熊本大学六十年史 別編 特別座談学生生活の記憶

慶應義塾福澤研究センター

近代日本研究 第30巻、慶應義塾福澤研究センター通信 第20号

皇學館大學館史編纂室

皇學館大學所蔵 学校史誌目録(増訂版)、皇學館大學百三十年史 資料篇二・三

神戸国際大学

神戸国際大学紀要 第85・86号、神戸国際大学経済経営論集 第34号第1巻、経済文化研究所年報 第23号、神戸国際大学経済文化研究所叢書16 大学教育の変貌を考える、まちづくりDIY 愉しく！続ける！コソ

神戸女学院史料室

学院史料 Vol.27、學報 NO.170・171

國學院大學

企画展 明治国学の展開と継承・発展ー井上頼国歿後百年記念展ー(チラシ)、校史 Vol.24、國學院大學校史・学術資産研究 第六号

国士館史資料室

国士館史研究年報 楓原 2013 第5号

駒澤大学禅文化歴史博物館

企画展 禅画禅籍を楽しむ(ポスター・チラシ)、駒沢移転百周年記念企画展 震災と復興建築～大正時代の駒澤大学～

淑徳大学アーカイブズ

淑徳大学アーカイブズ・ニュース 第9号

女子美術大学歴史資料室

女子美術大学歴史資料室ニューズレター TEXNH MAKPA 第7号、横井玉子・藤田文蔵と私立女子美術学校創立展(ポスター・チラシ)

成城学園教育研究所

成城学園教育研究所研究年報 第三十五集、成城教育 第163・164号

西南学院

西南学院史紀要 第9号

専修大学大学史資料課

専修大学史紀要 第6号、専修大学史資料集 第三卷 五大法律学校の時代

創価大学創価教育研究所

創価教育 第7号

大東文化歴史資料館

大東文化歴史資料館だより 第16号

拓殖大学創立百年史編纂室

拓殖大学百年史 資料編七

玉川大学教育博物館

玉川大学教育博物館紀要 第11号

多摩美術大学

多摩美術大学研究紀要 第28号、多摩美術大学大学院美術研究科紀要 多摩美術研究 第3号

中央大学入学センター事務部大学史編纂課

中央大学史資料集 第二十六集

東海大学学園史資料センター

学校法人東海大学大学学園史資料センター10年のあゆみ

東京外国語大学文書館

東京外国語大学文書館 資料調査報告書2 ー東京外国語会資料ー、東京外国語大学文書館 第5回企画展 外語とボートー学内競漕大会第百回記念ー(パンフレット)

東京学芸大学教育研究支援部大学史資料室事務室

東京学芸大学大学史資料室展示会 学生生活とキャンパスの移り変わり(2) 學藝アルバム(チラシ)、東京学芸大学大学史資料室報 vol.1

東京大学史史料室

東京大学史紀要 第32号、東京大学史史料室ニュース 第52号

同志社大学同志社社史資料センター

同志社大学同志社社史資料センター報 第10号、同志社談叢 第34号、特別写真展「東日本大震災・原発事故から3年ー福島現場を考える」(チラシ)、新島研究 第105号、新島襄海外渡航150周年 新島襄の『蓬桑』の志(記念パンフレット)、新島襄海外渡航150周年記念企画展 新島襄の『蓬桑』の志(ポスター)、新島襄海外渡航150周年記念事業(チラシ)、新島八重関連書簡集、ハリス理化学館同志社ギャラリー第4回企画展 同志社と絵画(ポスター・チラシ)

東北学院史資料センター

東北学院資料室 Vol.13

東洋英和女学院

楓園 No.74、史料室だより No.82

獨協学園獨協学園史資料センター

獨協学園資料センター研究年報 第5・6号

長崎大学

広報誌CHOHO Vol.47・48

名古屋大学大学文書資料室

名古屋大学大学文書資料室紀要 第22号、名古屋大学大学文書資料室ニュース 第31号

南山学園史料室

南山アーカイブズニュース 第6号、南山学園史料集9
南山学園のレーモンド建築(下)

南山大学史料室

アルケイアー 記録・情報・歴史 - 第8号

日本医科大学史料館(仮称)設立準備室

医史学研究 日本医科大学史料館(仮称)設立準備室
年報 2013年

日本女子大学成瀬記念館

成瀬記念館 2014 No.29、日本女子大学史資料集
第五-(六) 日本女子大学校規則[大正十三年-昭和二年三月]

日本大学広報部大学史編纂課

賛誌 第9号、生誕171年記念特別展 山田顕義と近代日本(ポスター・チラシ)、日本大学大学史編纂課だより 第6号、山田顕義と近代日本

梅花女子大学図書館

梅花女子大学心理こども学部紀要 4、梅花女子大学
文化表現学部紀要 10

広島大学高等教育研究開発センター

HIGHER EDUCATION FORUM Volume11, March
2014、高等教育研究叢書125 高等教育における市民的責任感の育成、高等教育研究叢書126 災害ボランティア経験が持つ大学生への教育効果、高等教育研究叢書127 フランスの大学ガバナンス、高等教育研究叢書128 大学のガバナンス~その特質を踏まえた組織運営の在り方を考える~ 第41回(2013年度)研究員集会の記録一、戦略的研究プロジェクトシリーズVIII 大学の多様化と機能別分化、大学論集 第45集 2013年度、広島大学高等教育研究開発センター コリーゲ 47号、平成25年度文部科学省先導的大学改革推進委託事業 大学教育改革の実態の把握及び分析に関する調査研究 事業成果報告書

広島大学文書館

基盤研究(B) 広島における原爆・核・被ばく関連の史・資料の集積と研究の現況、広島大学文書館紀要 第16号、広島大学文書館蔵 大牟田稔関係文書目録資料編2、広島大学文書館蔵 ビル・シェリフ関係文書目録、平成24年度中国・四国地区国立大学法人等公文書管理研修報告書

福岡大学75年史編纂委員会

福岡大学75年の歩み 事典編

法政大学史センター

法政大学史資料集 第35集

北海道大学大学文書館

北海道大学大学文書館年報 第9号

武蔵学園記念室

武蔵学園史年報 第18号

明治学院歴史資料館

明治学院歴史資料館(リーフレット)、明治学院歴史資料館ニュースレター No.5

明治大学史資料センター

大学史紀要 第18号 明治大学アジア留学生研究 I、
ニュースレター明治大学史 No.11

桃山学院史料室

2014年度桃山学院大学入学式記念展示 和泉キャンパス移転20年(1995年~2014年)(チラシ)、桃山学院史料室 2014年度版(リーフレット)、桃山学院年史紀要 第33号、桃山学院の歴史 2014

立教学院史資料センター

立教学院史研究 第11号

立教学院展示館

立教学院展示館 2014.5.9 OPEN!(チラシ)

早稲田大学大学史資料センター

世界への跳躍 限界への挑戦-早稲田スポーツの先駆者たちとその時代-(ポスター・チラシ)

国文学研究資料館

アーカイブズの構造認識と編成記述、国文研ニュース No.35、史料目録第98集 武蔵国多摩郡和田村石坂家文書目録、史料目録第99集 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その7)、平成26年度 アーカイブズ・カレッジ史料管理学習研修会(パンフレット・ポスター)

全国大学史資料協議会東日本部会

大学アーカイヴズ No.50

全国大学史資料協議会西日本部会

全国大学史資料協議会西日本部会会報 NO.30

わだつみのこえ記念館

わだつみのこえ記念館 記念館だより No.8

社団法人生産技術振興協会

～高機能・高付加価値製品を生み出す新素材・新技術
～大阪市立工業研究所との産官技術交流会(チラシ)、
Newテクノマート 創 2014 JUN.Vol.12、アライアンス委
員会5分科会創設について(パンフレット)、生産と技術
Vol.66No.3、ハイテク推進セミナー 最先端の『ビッグ
データ』によこそ！～ビッグデータが社会を変える～

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室

資料室ニュース vol.52～54

あおぞら財団

あおぞら財団の“今”大解剖!!(チラシ)、資料館だより
No.48・49、佃のむかしどんなところ？聞いて食べてしゃ
べって PART3(チラシ)、人にやさしい公共交通(チラシ)

大学共同利用機関法人**人間文化研究機構研究資源共有化事業委員会**

研究資源共有化システムニュースレター 第8号

秋田県公文書館

秋田県公文書館研究紀要 第20号、秋田県公文書館
所蔵 絵図図録、秋田県公文書館だより 第29号、広報
誌「古文書倶楽部」第58号、所蔵古文書目録第9集「戸
村家文書目録」

天草市立天草アーカイブズ

平成25年度 天草市立天草アーカイブズ年報 第11号

磐田市歴史文書館

第13回磐田市歴史文書館 企画展 松岡霊社旧蔵『二
条亭行幸之図』と『拾遺手鑑』(チラシ)

岡山県立記録資料館

岡山県記録資料叢書9 岡山県史料九(明治九年・下)、
岡山県立記録資料館紀要 第9号、岡山のアーカイブズ
3～記録資料館活動成果資料集～

沖縄県公文書館

沖縄県公文書館研究紀要 第16号、沖縄県公文書館
だより ARCHIVES 第46・47号

外務省外交史料館

外交史料館報 第27号

香川県立文書館

平成26年度企画展示 古文書で読み解く境界の風景
(チラシ)、香川県立文書館 収蔵文書目録第16集 那
珂郡今津村横井家文書目録(二)、香川県立文書館紀
要 第18号

神奈川県立公文書館

平成25年度 神奈川県立公文書館年報

京都府立総合資料館

京都府立総合資料館 開館50周年記念誌 1963－2013、
資料館紀要 第42号、総合資料館だより No.179・180

宮内庁書陵部

書陵部紀要 第65号・[陵墓篇]、みゆきのあと－明治天
皇と多摩－(図録)

国立公文書館

アーカイブズ 第52・53号、平成25年度アーカイブズ研
修Ⅲ修了研究論文集

埼玉県立文書館

埼玉県史料叢書12 中世新出重要史料二、埼玉県立
文書館収蔵文書目録第53集 諸井(三)家文書目録、文
書館紀要 第27号

札幌市総務局行政部公文書館

札幌市公文書館研究紀要 第6号

寒川文書館

寒川文書館だより Vol.15、寒川町史研究 第26号

東京都公文書館

東京都公文書館だより 第24号

栃木県立文書館

学校教材資料集 第10号、栃木県史料所在目録 第43
集CD版、栃木県立文書館研究紀要 第18号、文書館だ
より 第55号

鳥取県立公文書館

鳥取県立公文書館研究紀要 第8号

長野県立歴史館

収蔵品展 歴史に煌めく日本の美～信濃を彩る名品た

ち〜(ポスター・チラシ・招待券)、「長野県の遺跡発掘2014」関連企画講演会・遺跡報告会 講演会「伊那谷の弥生文化の展開」(チラシ)、長野県の遺跡発掘2014 講演会・遺跡報告会のお知らせ(チラシ)、長野県埋蔵文化財センター速報展 長野県の遺跡発掘2014(チラシ・招待券)、長野県立歴史館研究紀要 第20号、長野県立歴史館収蔵文書目録 13、長野県立歴史館たより vol.78・79、長野県立歴史館催しもの案内 2014年4月ー2014年10月(リーフレット)、平成26年度夏季展 山とともに生きる(チラシ・招待券)

長野市公文書館

市誌研究ながの 第21号

名古屋市市政資料館

新修名古屋市史 資料編 考古2・近代3・現代

八王子市市史編さん室

新八王子市史 自然編、八王子市史叢書2 聞き書き 織物の技と生業

広島県立文書館

広島県立文書館資料集8 村上家乗 万延元年・文久元年、広島県立文書館だより No.38

福井県文書館

福井県文書館研究紀要 第11号、福井県文書館資料 叢書10 福井藩士履歴2 お〜く

福岡共同公文書館

福岡共同公文書館第4回企画展 公文書でひもとく 人々の暮らし 残された戦争の記録(ポスター・チラシ)、平成25年度 福岡共同公文書館年報 第2号

福岡市総合図書館

福岡市総合図書館研究紀要 第14号、平成25年度 古文書資料目録 19

福島県文化振興財団

福島県史料情報 第38・39号、福島県歴史資料館収蔵資料目録 第45集 県内諸家寄託文書(39)

北海道立文書館

北海道立文書館報赤れんが No.49

松本市文書館

松本市史研究ー松本市文書館紀要ー第24号

三豊市文書館

三豊市文書館だより 七宝 Vol.7〜10

山口県文書館

文書館ニュース No.48、山口県文書館研究紀要 第41号

和歌山県立文書館

収蔵史料目録13 紀美野町福田 岡本家文書目録、和歌山県立文書館開館二十周年記念 古文書徹底 解釈紀州の歴史 つるの嫁入り偽一九と書物屋喜一郎、和歌山県立文書館だより 第39・40号

大阪大学未来戦略支援事務室

OSAKA UNIVERSITY CROSS-BOUNDARY INNOVATION PROGRAM(リーフレット)、OSAKA UNIVERSITY FRONTIER BIOSCIENCES 2012、RESPECT 大阪大学未来共生イノベーション博士課程 プログラム 平成25年度プログラム案内、大阪大学大学院基礎工学研究科・基礎工学部 要覧 2012、大阪大学の博士課程教育リーディングプログラム(パンフレット)、大阪大学博士課程教育リーディングプログラム IMSC NewsLetter No.01、大阪大学博士課程教育リーディングプログラム インタラクティブ物質科学・カデットプログラム(パンフレット)、キミこそ、情報科学のパスファインダー(リーフレット)、超域 大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム(リーフレット)、博士課程教育リーディングプログラム 生体統御ネットワーク医学教育プログラム、平成25年度 大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム プログラム案内・第二期生募集要項

大阪大学広報・社会学連携オフィス

OSAKA UNIVERSITY PROFILE 2014(要覧)、大阪大学ニュースレター No.63、阪大NOW No.140・141

大阪大学総務企画部

いちよう祭 2014 (パンフレット)、活性化Motto! ー事務活性化通信ー No.1・2

大阪大学不正使用防止計画推進室

公的研究費使用ハンドブッカー 正しく理解し、正しく使うためにー

大阪大学環境・エネルギー管理課

The challenge to the low carbon in Osaka University(パンフレット)、大阪大学における低炭素キャンパスへの挑戦(パンフレット)

大阪大学全学教育推進機構

学部高学年生と大学院生のための学際融合教育ガイド(パンフレット)、平成26年度 大阪大学 知のジグザグティックス(高度教養プログラム)ー3年次以上の学部学生及び大学院学生対象ー、平成26年度 大阪大学大学院副専攻プログラム大学院等高度副プログラム、平成26年度 授業時間割1年次(第Ⅰセメスター)用・2年次(第Ⅲセメスター)用、平成26年度 全学共通教育科目授業概要Ⅰ(シラバスⅠ)〈第1学期(第Ⅰセメスター)〉・(シラバスⅡ)〈第2学期(第Ⅱセメスター)〉、平成26年度 履修の手引き

大阪大学学際融合教育研究センター

大阪大学学際融合教育研究センター 外部評価報告書 平成26年3月、学際融合教育研究センター2009ー2013 活動報告書、平成25年度 学際融合教育シンポジウム実施報告書、平成25年度 学生交流学際融合教育セミナー実施報告書

大阪大学教育学習支援センター

Teaching and Learning Support Center, Osaka University International Seminar 2014 Helping Students to be Reflective Learners、大阪大学教育学習支援センター国際セミナー2014 リフレクティブな学習者をいかに育成するか?(チラシ)、大阪大学ファカルティ・ディベロップメントプログラムガイド(パンフレット)

大阪大学21世紀懐徳堂

大阪大学×大阪ガスアカデミックキング 賢くてずるいあなたの口(チラシ)、大阪大学×大阪ガスアカデミックキング 食中毒予防のための正しい知識=食中毒よもやま話=(チラシ)、大阪大学×大阪ガスアカデミックキング 誘惑と自製のあいだ～肥満とやせの経済学(チラシ)、大阪大学21世紀懐徳堂活動報告書 2013、大阪大学21世紀懐徳堂だより vol.16・17、教職員のみなさん!アウトリーチ活動のお手伝いをします!!(チラシ)、第11回 植物探検隊@春の待兼山を訪ねて(チラシ)、適塾特別展示『平成の改修』ー歴史遺産を未来へー(チラシ)、中之島学芸文化案内地図(リーフレット・ポケットサイズ)

大阪大学大型教育研究プロジェクト支援室

サイエンスカフェ 毒と薬ーボツリヌス毒素が体内に侵入する仕組みの秘密から(チラシ)、二頁だけの読書会 vol.2・3(チラシ)

大阪大学大型教育研究プロジェクト支援事務室 審良プロジェクト支援チーム

最先端研究開発支援プログラム 「免疫ダイナミズムの

統合的理解と免疫制御法の確立」研究成果報告書 平成22年3月～平成26年3月、最先端研究開発支援プログラム審良プロジェクト 免疫研究の新展開ー免疫ダイナミズムの統合的理解と免疫制御法の確立ー(DVD)

大阪大学附属図書館

Osaka University Library Life Sciences Library Guide For Members of Osaka University, Osaka University Library Main Library User's Guide 2014.4、大阪大学外国学図書館利用案内 2014.4、大阪大学図書館報 47巻2ー3号、大阪大学図書目録 洋書昭和三十年度 欧文雑誌昭和三十一年度、大阪大学図書目録 洋書昭和三十四年度 欧文雑誌昭和三十五年度、大阪大学図書目録 洋書昭和三十五年度 欧文雑誌昭和三十六年度、大阪大学附属図書館生命科学図書館利用案内2014.4[学外者用]・[学内者用]、大阪大学附属図書館総合図書館利用案内 2014.4

大阪大学大学院文学研究科・文学部

アンサンブル・ラロ パプスブルクと室内楽(チラシ)、フィロカリア 第31号

大阪大学医学部附属病院

Handai Hospital 阪大病院ニュース 第54・55号、I.C.T. Monthly no.210～216・号外、Nutrition News No.11・12、お～いNET No.132～138、大阪大学医学部附属病院要覧 2014、支部ニュース なにわ、全大教 号外、第78回未来医療セミナー 細胞の守護者オートファジー:分子機構と疾患における役割(チラシ)、第79回未来医療セミナー 臨床研究から日常診療への「トランスレーションリサーチ(チラシ)、阪大教職組ニュース 650～653号

大阪大学大学院歯学研究科・歯学部

概要 2014 大阪大学大学院歯学研究科・歯学部・歯学部附属病院・歯学部附属歯科技工士学校

大阪大学大学院工学研究科・工学部

大阪大学大学院工学研究科 平成26(2014)年10月入学博士後期課程学生募集要項、大阪大学大学院工学研究科 平成27(2015)年4月入学 博士後期課程学生募集要項、大阪大学大学院工学研究科 平成27(2015)年4月入学 博士前期課程学生募集要項、大阪大学大学院工学研究科・工学部 2014(リーフレット)、大阪大学大学院工学研究科・工学部 要覧 2014、大阪大学超高压電子顕微鏡センター平成25年度年報、大阪帝國大學一覽 昭和十五年度、平成26年度(2014年度) 工学研究科履修案内(平成26年度入学者用)、平成26年

度第1学期大学院前・後期課程用授業時間割(裏面第2学期)

大阪大学大学院基礎工学研究科・基礎工学部

21世紀の科学と技術のパイオニア 2015、OSAKA UNIVERSITY Graduate School of Engineering Science/School of Engineering Science 2014、大阪大学基礎工学研究科・基礎工学部要覧 2014(日本語版)、平成25年度 基礎工学研究科・基礎工学部 学外者による評価と提言 新世紀科学と技術のパイオニアを目指して、平成26年度 大阪大学基礎工学部 学生便覧、平成26年度 大阪大学大学院基礎工学研究科時間割表博士前期課程 1・2年次、平成26年度 大学院学生便覧、平成26年度10月入学 大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程学生募集要項[社会人特別選抜を含む]、平成26年度授業時間割表 1年次生用、平成26年度授業時間割表 2・3・4年次生用 第1・2学期、平成27年度 大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程学生募集要項[社会人特別選抜を含む]、平成27年度 大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程学生募集要項[学部3年次生を対象とした募集を含む]、平成27年度 大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程学生募集要項[社会人特別選抜]、平成27年度 大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程推薦入学特別選考学生募集要項

大阪大学大学院言語文化研究科

言語文化共同研究プロジェクト2013 「文化」の解読(14)ー文化と公共性ー、言語文化共同研究プロジェクト2013 英語教育の今日的課題、言語文化共同研究プロジェクト2013 音声言語の研究8、言語文化共同研究プロジェクト2013 外国語教育の新しい局面(4)ーFacets of Foreign Language Teaching Todayー、言語文化共同研究プロジェクト2013 言語文化の比較と交流1、言語文化共同研究プロジェクト2013 時空と認知の言語学Ⅲ、言語文化共同研究プロジェクト2013 自然言語への理論的アプローチ、言語文化共同研究プロジェクト2013 テキストのレトリック 文化のレトリックー修辞・思想・翻訳ー、言語文化共同研究プロジェクト2013 電子化言語資料分析研究2013-2014、言語文化共同研究プロジェクト2013 批判的社会言語学の展望、言語文化共同研究プロジェクト2013 表象と文化Ⅺ、言語文化共同研究プロジェクト2013 ポストコロナル・フォーメーションズⅨ

大阪大学大学院国際公共政策研究科

OSIPP NEWSLETTER vol.65 Winter 2014、国際公共政策研究 第18巻第2号(通巻第34号)

大阪大学大学院情報科学研究科

大阪大学大学院情報科学研究科 年報 第9号

大阪大学大学院高等司法研究科

大阪大学大学院高等司法研究科 法科大学院 2014～2015(パンフレット)、大阪大学大学院高等司法研究科ニューズレター No.13

大阪大学産業科学研究所

大阪大学いちょう祭産業科学研究所一般公開 産業のそばに科学アリ! (ポスター・チラシ)、大阪大学いちょう祭産業科学研究所一般公開・5月3日限定企画産研サイエンスカフェ(チラシ)、ISER 2014(パンフレット)

大阪大学社会経済研究所

大阪大学社会経済研究所・第11回行動経済学研究センターシンポジウム 子を育てるー経済学の視点ー(チラシ)、大阪大学社会経済研究所活動報告 2013、国立大学附置研究所・センター長会議 第3部会(人文・社会科学系)シンポジウム 失われた20年を超えて 日本経済再生への途(チラシ)

大阪大学接合科学研究所

TRANSACTIONS OF JWRI Vol.42No.2 2013、大阪大学接合科学研究所 年次報告 2013年度、大阪大学接合科学研究所 要覧 2014、大阪大学接合科学研究所スマートプロセス研究センター ニュースレター No.23、大阪大学接合科学研究所スマートプロセス研究センター 要覧 2014、阪大接合研ニューズレター No.34

大阪大学低温センター

大阪大学低温センターだより No.161・162

大阪大学超高圧電子顕微鏡センター

大阪大学超高圧電子顕微鏡センター平成25年度年報

大阪大学ラジオアイソトープ総合センター

RI センターニュース No.27

大阪大学環境安全研究管理センター

大阪大学環境安全研究管理センター誌「保全科学」第20号、環境安全ニュース No.51

大阪大学国際教育交流センター

2013年度 年報、2014年度 留学生日本語プログラム履修ガイド、OUSSEP CALENDAR 2014-2015、大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会参加団体活動概要、大阪大学国際教育交流センター研究論集 多文化社会と留学生交流 第18号、国立

大学法人留学生センター等における留学生交流指導体制をめぐる最近の状況、世界・未来をともに学ぶⅣ・Ⅴー阪大留学生をリソースとした「国際理解教育」事例ー、第22回 大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会報告書、第39・40期 日本語集中(研修)コース修了発表会報告書、第7回 大阪大学専門日本語教育研究協議会 上級レベルの専門日本語教育ー理論と実践ー報告書

大阪大学総合学術博物館

大阪大学総合学術博物館 第7回特別展 漢方今昔物語生薬国産化のキーテクノロジー(ポスター大・中、チラシ)、大阪大学総合学術博物館 年報 2012、大阪大学総合学術博物館叢書10 野中古墳と「倭の五王」の時代、奇跡の古代鰐 マチカネワニ発見50年の奇跡(ポスター・チラシ)

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

Communicationーdesign [10]

大阪大学金融・保険教育研究センター

平成26年度10月入学 大阪大学金融・保険教育研究センター科目等履修生高度プログラム「金融・保険」募集要項

大阪大学グローバルコラボレーションセンター

GLOCOLセミナー(114) FIELD0グローバル・エキスパート連続講座(22) 後悔にもいろいろあるけど何もしなかったVSやってしまった(チラシ)、国際セミナー 「いたみ」「かなしみ」「他者」の現場ーフィールドワークを問うー(チラシ)

大阪大学日本語日本文化教育センター

大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究 第12号、日本語・日本文化 第41号

大阪大学サイバーメディアセンター

大阪大学サイバーメディアHPCジャーナル No.4、サイバーメディアセンター年報 2013年度 No.14

懐徳堂記念会

第127回 懐徳堂春季講座大阪民衆の近代 大正人物列伝(チラシ)

大阪大学出版会

[復刻版]大阪帝国大学創立史、大阪大学歴代総長餘芳

阿部武司(大阪大学名誉教授)

Handai Hospital 阪大病院ニュース 第2・6号、アートエリアビーワン B1 3、愛のレッスン とつとつダンス

part.2(ポスター)、大阪大学 大学教育実践センター(パンフレット)、大阪大学 協働育成型イノベーション創出リーダー養成プログラム(パンフレット)、大阪大学国際交流会館 入居の手引、大阪大学産学連携本部イノベーション部(CLIC)長期インターンシップ(チラシ)、大阪大学就職ガイドブック 平成26年度(2015年3月)卒業(修了)予定者向け、大阪大学授業支援システム WebCT(チラシ)、大阪大学新聞 第323号、大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム(パンフレット)、大阪大学図書館報 47巻2ー3号、大阪大学図書館報 Vol.34 No.2/3ーVol.37 No.3、協働育成型イノベーション創出リーダー養成(パンフレット)、研究者・大学院生のみなさま。ネットワーク、はじめませんか。CLIC Open-innovation Network CLIC-ON 発信×交流×イノベーション(チラシ)、公文書管理法の比較法制史 データブック編、知デリ in Hankyu Department Store Umeda Main Store 知術ノマドカラミタ創発のフィールド(チラシ)、阪大法学部 NEWS LETTER 第8号、懐徳 第79号、平成16年度大阪大学大学教育実践センター開設記念 国際シンポジウム「大学と社会」(プログラム)、平成16年度版 就職のてびき、平成26年度専門セミナー・研究セミナー履修の手引き、待兼山 第29号、ラボカフェ 2014.03、ワークショップデザイナーになる(チラシ)

藤井勝博

先端無窮 奈良先端科学技術大学院大学 創立20周年記念史

原島俊(大阪大学)

醗酵二八会 同窓会報 卒業六十周年記念

菅真城(大阪大学)

大阪大学教育学習支援センター ユースデザインワークショップガイド2014(リーフレット)、大阪大学経済学第63巻第4号、大阪大学経済学 第63巻第4号抜刷「鈴木胖名誉教授に聞くー大阪大学の思い出ー」、大阪大学経済学 第64巻第1号、大阪大学経済学 第64巻第1号抜刷「畑田耕一名誉教授に聞くー大阪大学の思い出を中心にー(1)」、生産と技術 Vol.66No.2

大阪大学アーカイブズ兼任教員名簿

2014年4月1日現在

所属部門	氏名	所 属	職名
法 人 文 書 資 料 部 門	高橋 明男	法学研究科	教 授
	瀧口 剛	法学研究科	教 授
	三阪 佳弘	高等司法研究科	教 授
	平尾 俊一	工学研究科	教 授
	中村 征樹	全学教育推進機構	准教授
	阿部 浩和	サイバーメディアセンター	教 授
大 学 史 資 料 部 門	竹中 亨	文学研究科	教 授
	田口宏二郎	文学研究科	准教授
	澤井 実	経済学研究科	教 授
	廣田 誠	経済学研究科	教 授
	進藤 修一	言語文化研究科	教 授
	廣川 和花	適塾記念センター	准教授

大阪大学アーカイブズ運営委員会委員名簿

氏名	所属・職名
◎飯塚 一幸	アーカイブズ室長（文学研究科 教授）
菅 真城	アーカイブズ 准教授
高橋 明男	法学研究科 教授
廣田 誠	経済学研究科 教授
平尾 俊一	工学研究科 教授
橋爪 節也	総合学術博物館 教授
大藤 生気	総務企画部長
井上 修	附属図書館事務部長

◎は委員長

業務日誌(抄) (2014年3月～2014年8月)

・3月1日 菅、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第100回近世古文書研究会に出席。

・3月6日 法人文書等の管理に関する説明会を開催。

・3月8日 菅、第144回記録管理学会例会に出席。

・3月19日 東海大学学園史資料センター教職員2名が視察。

・3月28日 保健センターから写真アルバム受贈。

・3月31日 阿部武司室長退任。藤井勝博文書管理室室長代行退職。『大阪大学アーカイブズニューズレター』第3号を刊行。

・4月1日 飯塚一幸文学研究科教授が室長に就任。美濃越進氏が文書管理室室長代行に就任。平成25年度移管特定歴史公文書等の公開を開始。

・4月14日 全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」開講。菅、「概観」講義。

・4月18日 菅、全国大学史資料協議会西日本部会2014年度第1回幹事会（関西学院大学梅田キャンパス）に出席。

・4月19～20日 菅、東京出張。日本アーカイブズ学会2014年度大会（学習院大学）に出席。

・4月22日 文学研究科学生より、大阪大学の男女別学生数の推移について照会。

・5月14日 工学研究科評価・広報係から所蔵資料について照会。

・5月22日 菅、全国大学史資料協議会西日本部会2014年度総会・第1回研究会（大阪商業大学）に出席。

・5月23～24日 菅、札幌出張。記録管理学会2014年研究大会（札幌エルプラザ・藤女子大学）に出席。

・6月2日 菅、全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」で「大阪帝国大学の創設と理学部の新設」講義。

・6月3日 全国大学史資料協議会西日本部会庶務引継ぎ。

・6月4日 藤女子大学教授・小川千代子氏、大阪大学出版会・大西愛氏、見学。

・6月6日 工学部醗酵工学教室の同窓会（尚醸会）から資料受贈。

・6月9～10日 飯塚室長、菅、札幌出張。平成26年度全国公文書館長会議等に出席。

・6月12日 公益財団法人大阪癌研究会事務局長仲田昇氏来室。資料保存について協議。

・6月23日 工学研究科評価・広報係から古い資料について照会。東北大学史料館から書庫面積等について照会。菅、全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」で「旧制高等学校から阪大共通教育へー大阪高等学校、浪速高等学校ー」講義。

・6月24日 大阪大学看護同窓会4名、資料寄贈の相談のため来室。

・6月25日 工学研究科から資料室所蔵資料の一部を受贈。

・7月3日 東京大学文書館から教職員の位置づけについて照会。

・7月4日 鶴見晶子氏から資料受贈。大阪大学看護同窓会から資料受贈。

・7月5日 第149回記録管理学会例会を開催。菅、「大阪大学アーカイブズの設立と活動」について講演。受講者・見学者21名。

・7月8～9日 菅、東広島出張。全国大学史資料協議会西日本部会2014年度第2回研究会（広島大学）に出席。

・7月10日 文学部学生から『大阪大学史紀要』掲載原稿について照会。

・7月15日 広報・社会学連携オフィス広報課から新聞スクラップの移管について照会。

・7月17日 菅、東京出張。第90回全国大学史資料協議会東日本部会研究会（東京外国語大学）に出席。

・7月28日 菅、全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」で「歴史を学ぶ 歴史に学ぶ」講義。

・7月30日 第3回アーカイブズ運営委員会を開催。小岩昌宏氏から山口珪次博士関係資料を受贈。

・8月4日 附属図書館職員と阪大刊行物保管について協議。見学者2名（図書館職員）。

・8月6日 東北大学史料館・曾根原理氏が視察。

・8月13日 東京大学文書館から消火設備について照会。

・8月26日 大阪大学史に関する研究会を開催。講師：沢井実経済学研究科教授「大阪高等工業学校から大阪工業大学・大阪帝国大学工学部へーその歩みと大学史編纂の課題ー」

大阪大学アーカイブズ利用案内

・開室日

次に掲げる日を除く毎日

(1) 日曜日及び土曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 12月29日から翌年の1月3日までの日

・利用時間

午前9時30分～午後4時30分

・利用請求の受付

午前9時30分～正午、午後1時～午後4時

大阪大学アーカイブズ構成員名簿

室長 飯塚 一幸
(文学研究科教授)
准教授 菅 真城

〈事務担当〉

大阪大学総務企画部総務課文書管理室

室長 田中 良和
(総務企画部総務課長)
室長代行 美濃越 進
(嘱託職員)
室長補佐 平野 雅宏
事務補佐員 川口由美子
石崎 光穂



大阪大学アーカイブズニュースレター 第4号

発行日 2014年9月30日
編集発行 大阪大学アーカイブズ
〒562-8558

大阪府箕面市栗生間谷東8-1-1

Tel. (072) 730-5113

Fax. (072) 730-5114

E-mail office@archives.osaka-u.ac.jp

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/ed_support/archives_room